

月報 2023年 10月31日 No.393

石城山岳会

10月号

# 四方通信



石城山岳会事務局編集

10月月例山行「鳥海山」

10月登山教室「火打山」

# 10月月例山行「鳥海山」

日時：2023年9月30日～10月1日

参加者 下山田、渡辺、蛭田一二三、佐藤幸子、蛭田ミチ、  
根本、青天目、種市、猪狩、尾形成久、長子

9月30日8時水石トンネル駐車場を出発し、初日は「鳥海高原家族旅行村」に宿泊し、翌10月1日4時から湯の台口から鳥海山を目指し、15時に下山予定でした。

## 湯の台口からの登山計画

鳥海高原家族旅行村発（4：00）⇒湯の台口登山口発（5：00）  
⇒伏拝岳（ふしおがみだけ）（8：40）⇒行者岳⇒鳥海山  
（10：30）⇒行者岳⇒伏拝岳（11：50）⇒湯の台口登山口発  
（15：00）



1週間ぐらい前から天候の崩れを気にしておりましたが、登山予定の前日9月30日、明日が晴れることを期待し、とりあえず予定どおり、宿泊地の「鳥海高原家族旅行村」に行きました。

やはり期待に反して、予報通り天候は回復せず、登山を断念し、登山届を取下げました。

宿泊は「ツリーハウス」と呼ばれ、高床式で床下においてアウトドアクッキングができる施設でした。

夕食は、参加者の登山経験談や今後の登山計画等の話をし、聞くことができ、有意義な交流会となりました。

10月1日は、酒田市の芸術や歴史を学ぶため、「山居倉庫」「土門拳写真館」「本間家旧本邸」「本間家美術館」を訪れました。

鳥海山登山は、次回の楽しみにし、酒田市を後にしました。（文責：尾形成久）



# 10月登山教室「火打山」

2023年10月14日・15日

参加者 登山教室生 10名 山岳会員 12名

〈コースタイム〉

10月14日（土）

10:00 笹ヶ峰登山口→12:50 富士見平→14:00 高谷池ヒュッテ→15:20 火打山→16:30 高谷池ヒュッテ（泊）

10月15日（日）

7:00 高谷池ヒュッテ→富士見平→10:30 笹ヶ峰登山口着

合同庁舎を3時30分に出発し、磐越道から北陸自動車道、上信越道へと走り笹ヶ峰に向かう。が、途中で道を間違えるというアクシデントがあり、1時間遅れで笹ヶ峰登山口に到着。

4班に分かれ、自分は1班（6名、内教室生3名）に配属。予定より1時間遅れとなり、宿泊地へ日没前まで到着できるだろうか、いや、山頂への登頂すら難しいのでは…それぞれ不安を抱えながらの出発10:00。

天気は最好調。登り始めからすぐに暑くなり、早々に半袖姿になる。緩やかな木道が続き、黒沢に掛かる木の橋を渡ったところの分岐点で地図を広げ現在地確認。地形をイメージしながら読図し、この先どんな地形を歩いてどれくらい登ったり下りたりするのか先輩たちに地図読みを教わる。

地図通り急登で何度も直角に折れ曲がる「十二曲がり」はちょっときつめだが、このあたりの紅葉が見頃で、紅葉トンネルあり、合間に見える紅葉の絶景ありで、期待した以上に楽しめるコースだった。

12:50 富士見平で昼食。時間が押しているのも、早々に移動。ここは分岐になっていて黒沢岳方面の左へ進む。しばらくすると左には火打山や焼山が見え、さらに進むと今回お世話になる高谷池ヒュッテ



の三角屋根が見えてきた。山小屋らしい山小屋で、紅葉と相まって絵のような景色だ。光景に感動しながらところが弾む！が、高谷池ヒュッテになかなか辿りつかない。見えた時は「あと少しだ」と思ったが…。時刻はもう14時近く、焦りを感じながら進むと大きな屋根が目の前に現れた。高谷池ヒュッテ到着！

ここで荷物をサブバッグに持ち替える。山頂における気温低下と日没が予想され、グローブと上着、ヘッドランプの装備を確認し、14:00 火打山の山頂へ向かう。

木道を進むと「天狗の庭」に出る。ここには池塘が点在し水面に火打山を映し、この時季そしてこの時間で草紅葉の赤と空の青とのコントラストが美しい！と感動している矢先に登りが始まる。とんだん傾斜が急になり疲れた足には辛い登りだ。

雷鳥平に到着。火打山は、雷鳥生息における国内北限地だが、今回は上下山でも残念ながらお会いできず、そしてここからさらに急登だが、一步一步歩み進めてようやく15:20 山頂へ到着！



焼山、北アルプス、妙高山と 360 度見渡し、このすばらしい景色にたどり着いたときの達成感  
は大きい。

明るいうちに山小屋へということで早々に下山。山小屋では時間不足により登頂を断念した者も多くみられた。それだけタフなコースだったというのもあるが、ロス時間は否めない。そんな状況の中、1 班全員が山頂にあがり、予定時間内に山小屋へ無事に戻れたことは仲間の存在に感謝である。

山小屋では 5:30 に夕食。カレーとハヤシの 2 種盛り、杏仁豆腐付きを堪能。そして最も楽しみにしていたのが「酒」だ。それは自分の荷物の中で一番重量度が高かったものだ。他に酒持参者は多いが、自分ほどの量ではない様子。もちろん皆で楽しむ想定であるが、焼酎 900ml はちょっと…いや、かなり多かったみたい。お酒好きの方に手伝っていただき、下山の軽量化に勤しんでいただく！

8:00 消灯。昨日 2:00 起きだったこともあり、予想以上に寝つきは良く（酒の影響もある…と思う）早朝 3:00 の目覚めもスッキリ！がしかし、すごい雨の音だ。今日は下山だけ、とはいえ雨はテンションが一気に下がるが、朝食に提供されたアツアツの五目あんかけの旨さは、ところを前向きにさせてくれた。おかわり続出で、山小屋のスタッフさんもびっくりしていた様子だ。

しっかり雨具を装着し 7:00 に雨の中を出発。予定していた黒沢池コースを回避し、登ってきたコースで下山。滑りやすい木道やぬかるみに気を遣いながら慎重に降る。登りでも絶景を楽しませてくれた「十二曲がり」あたりで、雨上がりの濃霧によってできた雲海と紅葉という思いもよらない素晴らしい景色を眺めることができた。

あと 2 キロという頃に雨は止み、しばし上部の紅葉を眺めるながら登山口へと到着。悪道で転倒はあったものの、山中では大きなトラブルや怪我人が出ることもなく無事に全員が下山することができた。下山後は、温泉、食事、お買い物を堪能して帰路についた。 (文責：志賀(幸))



